

### 旅行取扱状況の概観（平成17年10月分）

海外旅行の取り扱いをみると、団体旅行は学生団体が2桁増と好調であったが、一般団体の取り扱い不振により、合計では前年実績に届かなかった。企画旅行では、ホリデイは取り扱いが鈍化し前年実績に達せず、その他企画商品も大きく前年実績を下回ったため、合計では大幅な前年割れとなった。個人旅行も国際航空券等のクーポンの取り扱いに伸びが見られず前月に続いて前年比マイナスとなった。

海外旅行合計は、企画旅行の取り扱い不振が大きく影響し、前年比93.0%と前年実績を下回り低調であった。

国内旅行の取り扱いでは、団体旅行は学生団体が堅調な取り扱いで前年比プラスとなったが、一般団体の取り扱いが低調で前年実績に届かなかったため、団体合計では、ほぼ前年並み実績に留まった。企画旅行ではメイトが前年比97.9%と伸び悩み、その他企画商品も不振のため、合計では前年実績に届かなかった。個人旅行は、航空券の取扱いは好調であったが、JR券の伸び悩み、宿泊券の低調により前年実績には達しなかった。

国内旅行合計は、企画旅行の低調、個人旅行の低迷により前年比で97.6%と前年実績までは届かなかった。

外国人旅行は、団体、個人の取り扱いが共に好調で、前年比141.8%と大きく前年実績を上回った。

10月の総取扱額は、国内・海外企画旅行の取り扱いが振るわず、前年比96.3%と前年実績を下回る結果に終わった。

#### 1. 海外旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体では、イベント関係、その他団体が共に不振で、前年を大きく下回り不振が続いている。学生団体は、修学旅行の取り扱いが好調で前年を2桁増で上回った。方面別の取り扱いでは、中国を除くアジア、ミクロネシアが目立った程度。アジアでは韓国が好調を持続したが、中国は前年の8割程度の状況であった。

##### (2) 企画旅行

ホリデイは、前年比93.2%と9ヶ月ぶりの前年比マイナスとなった。方面別取り扱いでは、津波の後遺症とテロの影響からアジアが、ハリケーンの影響からアメリカが伸び悩み、前年を上回ったのは、ヨーロッパのみの状況であった。中国は前年の48%と依然回復の兆しが見えない。

#### 2. 国内旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体は、イベント・コンベンション関係の取り扱い好調は持続したが、その他団体の取り扱いが大型団体の減少等により大きく前年を下回ったため、落ち込み幅は減少したものの前年比マイナス。学生団体は修学旅行、校外学習等の取り扱いが増加し、前月に続いての前年比プラス。

##### (2) 企画旅行

メイトの取り扱い内容をみると、北海道方面、沖縄方面、および宿泊型商品は堅調で前年を上回ったが、九州方面の取り扱いが低調であった。

(以上)